

あの山 この山 どんな山？

—「山の日」制定記念 日本の山の地質—

2016年

7月20日(水)

~10月2日(日)

History



View



Nature



地質標本館 特別講演

地震ってなあに？
—熊本地震をしらべています—

2016年 7月23日(土)

講演者：白濱吉起 (活断層・火山研究部門)

開場：13時30分 開演：14時

場所：地質標本館 映像室

定員：60名 ※当日先着順

開催場所：地質標本館 1階ホール
開館時間：9時30分～16時30分
休館日：毎週月曜日(休日の場合は翌平日)

入場
無料

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

 **GEOLOGICAL MUSEUM**
地質標本館



〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1 第七事業所
TEL: 029-861-3750, 3754 <https://www.gsj.jp/Muse/>



開催趣旨

日本列島の国土の約6割は山地が占めています。山は、古来狩猟や生活資材・資源の採取やスポーツ・レジャーなどに利活用されると共に、大自然を体現する場として畏敬の念を持って信仰や修養の対象とされてきました。これに加え、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨として、8月11日が「山の日」に制定され、本年から施行されています。これを記念するとともに「山」の魅力を確認・再発見する機会として、日本列島の多様な「山」について、地質図と共に、その山から採取された岩石や鉱物を併せて展示し、地質が語る山の生い立ちを紹介する特別展を企画しました。

産総研 地質調査総合センターは、地質の調査・研究を行い、地質図や各種の地質情報を公表しています。地質の研究における重要な目標の一つは、大地の成り立ちを読み解くことにあります。

今回の展示では、「この山でどのような岩石・鉱物・地層を見ることができるのか」をご紹介するだけでなく、「この山はどうやってできあがってきたのか」といった、地質が語る「大地の物語」(地下10数kmで生まれた岩石からなる山、深海底に降り積もった微生物の化石を含む山、誕生したばかりの山など)をご紹介します。

この展示を通して、登山の際に、足元に転がる岩石や、崖に現われる地層の断面が秘めた新たな魅力を感じて頂き、登山の楽しみの一つとして「地質」に親しんで頂く機会になれば幸いです。

紹介している山々

▲富士山

▲伊豆大島・三原山

▲八ヶ岳

▲九重山

▲雲仙岳

▲筑波山

▲甲斐駒ヶ岳

▲カムイエクウチカウシ山

▲東赤石山

▲早池峰山

▲伊吹山

▲両神山

▲高尾山

▲鋸山

▲男体山

▲伊豆・小笠原諸島の火山

▲屋久島

▲菱刈鉱山

